

あのね

2026

5

あのね
2026年 5月号
通巻404号
発行 福音館書店 宣伝課

悲しいときやつらいとき、ときにはうれしいときなど、人は涙を流すことがあります。ただ、私たちは幼いころから、涙を流して泣くことに我慢を強いられてきたことが多いのではないのでしょうか。涙が出るほどに感情が高ぶることは、どんな人にも起こりうる自然なことなのに、泣くことは“悪いこと”と育てられてきた私たち。5月の新刊『なきむし なきこちゃん』は、そんな私たちに“泣きたいときは泣けばいい”とそっと寄り添ってくれる作品です。この絵本に込められた思いを、著者のザ・キャビンカンパニーさんにつづっていただきました。



それは市民プールへ行った夏の日のこと。「泣くな！更衣室に、けたたましい怒鳴り声が響きわたりました。何ごとかと思ひ振り返ると、そこには小さな女の子とお母さん。理由はわかりませんが、女の子がしゃくりあげて泣いています。女の子は涙を我慢しようとするほど、嗚咽おぼろがあふれ出し、ますます大声で泣きあえます。まわりの人たちの心配した空気がモヤモヤと立ち込める中、泣き声だけが、うわーんうわーんといつまでも響いていました。

子育てをしていると、娘やまわりの子どもたちの涙に出会うことは日常茶飯事です。泣いている子どもたちに、どんな言葉をかければよいのか。彼らは一体何を思い、ひたすらに涙を流しているのか。「泣く」ということに、私たちが勝手に懸命に向き合っている形にすることで、泣いている子を一人でも救えるかもしれない。そう思い、筆をとることにしました。



泣き虫なあなたへ

『なきむし なきこちゃん』

ザ・キャビンカンパニー

ザ・キャビンカンパニー 作
定価1,870円(税込)
26×23cm / 40ページ
4才から

内容紹介

なきこちゃんは泣き虫です。ある日、なきこちゃんが泣いていると、涙が部屋からあふれて家の外へ流されてしまいました。なきこちゃんは涙の海を独りぼっちで漂います。途中、鳥や魚が声をかけますが、なきこちゃんの涙は止まりません。そこへクジラがやってきて、なきこちゃんは今までで一番の大きな声で泣きました。「たくさん泣いていいんだよ。おおきな海をつくりなさい」。泣きたいときは泣けばいい。子どもの涙に寄り添う絵本。

われる場面はきつとたくさんあるはず。そのような思いを土台に、試行錯誤を重ねながら、5年という歳月をかけて、ゆっくりに絵本を作っていました。

絵本のタイトルは『なきむし なきこちゃん』。主人公のなきこちゃんが、目に涙をためて泣きだすところから物語は始まります。大粒の涙はとめどなく流れ、やがて大きな海となります。その涙の海には、ゆかいな生きものたちが息づいています。当初、この生きものたちは、なきこちゃんを無理やり泣きやませようとする現実の大人たちのメタファーとして描く予定でした。しかし制作を進めていくうちに、生きものたちには、なきこちゃんの涙を全力で肯定する存在であってほしいと思いつくようになりました。物語の中の海の生きものたちは、涙を糧にして生きています。涙を我慢させるのではなく、もっと流していいのだと背中を押す役割を担っています。それは、日々の暮らしの中で、親である私たちが、なかなかできないことです。自戒の念をこめ、絵本の中の生きものたちの姿勢を現実でも忘れないようにと、思いを込めて描きました。

涙と海を掛け合わせた、この物語展開は「人間の体液」と「太古の海」の成分が似ているという神秘的な説から着想を得ています。寺山修司さんの詩「一ばんみじかい抒情詩」や、加古里子さんの絵本「人間」終章の言葉にも随分影響を受けています。その他たくさんの方々の力を借りて、刊行までたどり着くことができました。支えてくださったみなさますべてに感謝申し上げます。

泣き虫な読者のみなさんにとって、この絵本が、涙を受け止めてくれる懐の一本となりますよう、心から願っております。



おいしい絵本

新刊 さあ、おいしいおやつのできあがり!

絵本の中には、おいしそうな食べものがたくさん登場します。食べものの魅力がそのまま伝わってくる絵本、料理をする過程が描かれた絵本、子どもたちはそんな絵本が大好きです。今月は、おもわず手を伸ばして食べたくてしまう“おいしい絵本”をご紹介します。



おやつできあがり
彦坂有紀、もりいづみ 作
定価1,210円(税込)/24ページ
子どもたちが大好きなおやつがページをめくると「できあがり」。おいしなおやつを美しい木版画で描いた絵本です。

2才から



サンドイッチの制作過程を鮮やかに華やかに描きます

サンドイッチ サンドイッチ
小西英子 作
定価1,100円(税込)
24ページ
サンドイッチを作ろう! 真っ白なふわふわのパンにバターを塗って、レタスをのっけて、次は何をのせようか?

2才から

パン屋さんのおいしそうなパンがいっぱいの絵本



ぱんだいすき
征矢清文/ふくしまあきえ 絵
定価990円(税込)
20ページ
パン屋さんに行くと、おいしそうなパンがいっぱい。食パン、クロワッサン、フランスパン、アンパン、おまけにさくらんぼのパンも買いました。

0才から



ワニのわにわにが、はらぺこで台所にやってきた!



わにわにのごちそう
小風さち文/山口マコ 絵
定価1,100円(税込)
24ページ
ワニのわにわには、冷蔵庫の中に肉を見つけました! わにわには肉をフライパンで焼き、豪快に食べます。ああ、何ておいしいこと!

2才から

ぐんぐんふくらむ楽しい絵とお話。元気になるます



サラダでげんき
角野栄子 作/長新太 絵
定価1,320円(税込)
32ページ
りっちゃんが病気になったお母さんのために、サラダを作っていると、動物たちが次々とやってきて、サラダ作りのアドバイスしてくれます。

3才から

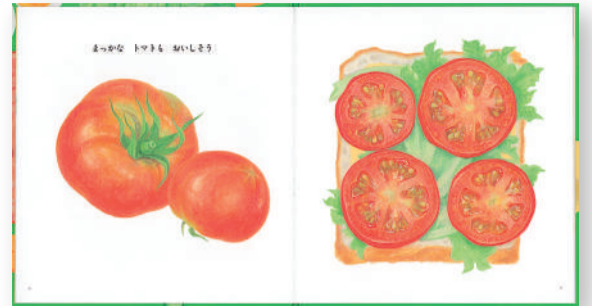


拾った手紙は3時のお茶の招待状……



3時のお茶にきてください
こだまとも 作/なかのひろたか 絵
定価1,320円(税込)
32ページ
まりちゃんが拾った手紙は、3時のお茶の招待状でした。みんなと地図をたよりにお茶会に向かいますが、大事なケーキがぐずれてしまいました。

3才から



ある日の食卓のおいしい音が勢ぞろい



おいしいおと
三宮麻由子 文
ふくしまあきえ 絵
定価1,100円(税込)
24ページ
春巻きを食べると、どんな音がする? 食卓のおいしい音が勢ぞろい。これを読んだら、食事がもっと楽しくなること請合いです!

3才から



おいしそうな手作りおにぎり、出来上がり!

おにぎり
平山英三 文/平山和子 絵
定価1,100円(税込)
24ページ

あつあつごはんをぎゅっ、ぎゅっ。手の中でくるっ、くるっ回してのりを巻けば、おにぎりのできあがり。思わず手のびるほどおいしい絵本。

2才から



小麦粉からうどんを作ろう!

うどんできた!
加藤休三 作
定価1,100円(税込)
24ページ
小麦粉からうどんを作ろう。粉と塩水をまぜまぜ、こねこね、それから足で踏むんだよ。自分で作ったうどんは、おいしい!

3才から

はぎれのいい関西弁でつづる卵料理の決定版



あれこれ たまご
とりやまゆき 文/中の滋 絵
定価1,320円(税込)
28ページ
卵は実にさまざまに料理できます。加熱したり、かきまぜたり、油を加えたりと。はぎれのいい関西弁でつづる究極の卵料理絵本。

4才から

クネクネさんと一緒に楽しいパーティーに出かけましょう



クネクネさんのパーティーのひきょうはパーティーのひきょう
樋勝朋日 文・絵
定価1,760円(税込)
40ページ
ブティックスマさんにパーティーに招かれたクネクネさん。とびきりのパンを焼いて家を出ますが、ハプニング続出で、なかなか会場に着けません。

4才から

料理好きの男の子とれんこんの不思議な冒険



れんこちゃんのさげしもの
戸森しるこ 作/スクラッコ 絵
定価1,320円(税込)
80ページ
包丁でれんこんを切ったら、あらびっくり! れんこんが話し出しました。料理好きの男の子とれんこんの女の子の不思議な冒険。

5・6才から

パンの香りが漂ってきそうなおいしい絵本



マフィンおばさんのぱんや
竹林亜紀 作/河本祥子 絵
定価1,320円(税込)
32ページ

パン屋の見習いアノグッテは、ある夜こっそりパンを作ります。好きなものをいっぱい入れた大きなパン種は、どんどんふくらんで、さあ大変!

3才から

変装したきつねがゆかいなスリランカの絵本

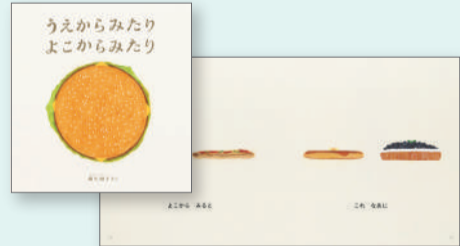


きつねのホイティ
シビル・ウェッタンハ 作
まつおかきょうこ 訳
定価1,430円(税込)/44ページ
ごちそうが食べた一心で、人間に変装してやってきたきつねと、だまされたふりをする村人たちのやりとりをユーモラスに描いたスリランカの絵本。

4才から

5月の新刊

視点の違いによる発見が楽しい、モノの絵本



うえからみたりよこからみたり
麻生知子 作
定価1,100円(税込)
24ページ
ハンバーガー、目玉焼き、金魚鉢……。いろいろなモノ、上から見るときの姿と横から見るときの姿を見せられます。

2才から

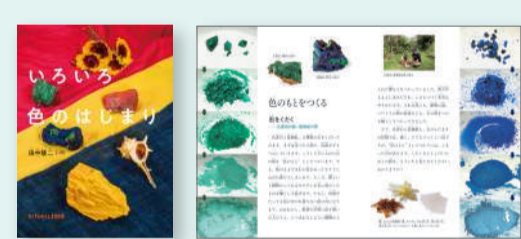
ぼくの大事なカブトムシ、どこにいったの?



かぶとむしがにげた!
たしろさと 作
定価1,100円(税込)
24ページ
ぼくの大事なカブトムシが、虫ごから逃げちゃった! 家の中にあるはずなのに、ちっとも見つからない。どこ? どこ?

3才から

毒の緑、宝石の青に花の赤。めくるめく色たちの歴史



いろいろ色のはじまり
田中陵二 文・写真
定価1,650円(税込)
40ページ
摩訶不思議な色のお話。化学者で鉱物愛する著者が、石や貝、草花から色をつくりながら、大昔の色から今の色までを案内。

小学中学年から

福音館の月刊誌 6月号のご紹介

ピックアップ!

こどものとも 年中向き



ターニャちゃんのスカート
洞野志保 作
ターニャちゃんは、長い髪に憧れる女の子。ある日、スカートを頭にかぶってみると、長い髪が大変身。みんなに見てもらおうと出かけた。でも、誰もほめてくれません。スロバキア在住の画家が、独特の色づかいで丁寧に描きます。



あたまではてんてん まど・みちおの詩をもとに
鍋田敬子 文・絵
ゴリラの親子のふれあいあそびをユーモラスに描きます。



こどものとも 年少版 定価500円(税込) 24ページ
むしのアパート
福井さと 作
ミツパチが同じアパートの虫たちにはちみつジュースを届けます。



こどものとも 定価500円(税込) 32ページ
まどのむこうのはな なあに?
荒井真紀 作
じっくり見て味わう、自然の花の美しさ



ちりせなか がくのとも 定価500円(税込) 24ページ
つばめ ぎゅうぎゅう
山口つじ 作
大きく育ったツバメのヒナたち。もう巣のなかはぎゅうぎゅうだ!

Check! 絵本と子育てに関わる記事をお届けする、新しいWebマガジン「とものま」 随時更新中!
<https://www.tomonoma.fukuinkan.co.jp/>



かがくのとも 定価500円(税込) 28ページ
やぶがらし
野坂勇作 作
どんどん伸びて様々な昆虫を養う植物、ヤブガラシの絵本です。



たくさんのふしぎ 小学3年生から 定価880円(税込) 40ページ
ギンリョウソウ 森に咲く銀色の花
末次健司 文・写真/安斎俊 絵
森に咲く不思議な植物ギンリョウソウ。その進化の道のりとは?